

箕島球友会 敗れる

第83回都市対抗野球大会大阪・和歌山1次予選(毎日新聞社・日本野球連盟近畿地区連盟主催)は5日、履正社学園グラウンド(大阪府茨木市)で準決勝と決勝があり、県内唯一の社会人野球チーム、和歌山箕島球友会(有田市)は準決勝で中山製鋼野球クラブ(大阪府)に1-2で敗れた。6日に同グラウンドである敗者復活戦に回り、2勝すれば2次予選への進出が決まる。

【竹田迅岐】



中山製鋼野球クラブと和歌山箕島球友会六回裏和歌山箕島球友会1死二塁、児玉が同点に追いつく適時打を放つ。大阪府茨木市の履正社学園グラウンドで。

きょう 敗者復活戦

中山製鋼ク 000000100100
和歌山箕島球友会 000000100000 12

(中)樫岡(梅田)(和)三宅悠、黒川(水田)二塁打、長方(尾辻)(中)山口、水田(和)

和歌山箕島球友会は1点を先制された直後の六回裏、大北が死球で出塁。さらに進塁して1死二塁とすると、児玉が中前に適時打を放ち同点に追いつく。だが八回に勝ち越されると、その後も好機を作るが、あと一本が出ず力尽きた。

先発の三宅悠は七回まで最少失点に抑えていたが、八回の失点が誤算だった。

「勝つことだけ考えて」

球友会 三宅悠投手 (24)

「勝つことだけを考えてマウンドに上がった」。和歌山箕島球友会の三宅悠投手(写真)に気負いはなかった。試合前から直球の調子がいいと見るや、直球を多投して相手打線を翻弄した。

八回、「先頭打者は絶対に出さない」と心がけていたが、安打で出塁させてしまう。味方の好守にも助けられて2死までこぎつけるが、四番打者に投げたスライダーが高めに浮き、痛打されてしまった。「変化球にタイミングが合ってなかったのも、不用意に投げてしまった」と悔やむ。その後は味方打線を信じ、気持ちを切り替えて抑えたが最後まで逆転できなかった。

試合後、「6日も投げるつもりで、帰ったらすぐに練習を始めます」。気持ちはすでに敗者復活戦に向いている。

都市対抗野球
大阪・和歌山1次予選

